

<速報>

* 9月1日、ドイツ東部ザクセン州ケムニッツで中東からの移民によると見られるドイツ人の刺殺事件に抗議する極右政党「ドイツのためにも選択肢 (AfD)・団体 (西洋のイスラム化に反対する愛国的欧州人 (ペギータ)) の約4500人のデモがあり、それに対し「人種差別を許すな」と幅広い市民約4000人が対抗デモを実施した。

* 9月1日、米紙『ニューヨーク・タイムズ』(AFTAについて、ツイッターに「新しいNAFTAにカナダをとどめる政治的必要性はない」と投稿した。

* 9月1日、ブラジルの高等選挙裁判所が、汚職の罪で収監されながら立候補したルラ大統領について、審理を終え、力行h所を認めないことを決定した。

* 9月2日、ソマリアの首都モガディシオで車を使った自爆テロが発生し、治安部隊員3人が死亡した。

* 9月2日、リビアの暫定政府が、8月下旬から首都トリポリで対立する民兵組織同士の戦闘が拡大したため、非常事態宣言が発令された。

* 9月4日、アフガニスタンの反政府武装勢力「タリバーン」が、同派内の強硬派で、米国が国際テロ組織に指定する「ハッカーニ派」の創始者ジャラルディン・ハッカーニが死亡したとの声明を出した。

* 9月3～4日、ベネズエラから中南米諸国に大量の難民が流出している問題で、ブラジルやメキシコなど中南米11ヶ国がエクアドルの首都キトで会議を開き、ベネズエラ製粉已大使、国際機関や中南米諸国の支援を受け入れるよう促す声明を採択した。

* 9月4日、ドイツで社会民主党 (SPD)、緑の党、左派党の左派系3政党が結集を目指し、緩やかな運動体「アオフシュテーエン (立ち上がる)」を発足させた。

* 9月4日、ロシア軍とシリア軍 (アサド政権軍) が反体制派が拠点とするイドリア県の西部を数十回空爆し、民間人13人が死亡した。

* 9月4日夜、リビアの首都トリポリで続いていた民兵組織同士の戦闘で、国連リビア支援派遣団が当事者が停戦に合意したと発表した。

* 9月5日、パラグアイの外務省が、米国に追隨して5月にエルサレムに移転した在イスラエルの威大使館について、商都テルアビブに再び戻すとの声明を発表した。8月に就任したベニテス新大統領が前政権の決定を覆した。イスラエル側は反発しており、ネタニヤフ首相は在パラグアイ大使館を閉鎖するよう指示した。

* 9月5日、インド労働組合センター (CITU)、全インド農民組合、全インド農業労働者組合 (AIAWU) の3労組がモディ政権の抗議して首都ニューデリーに集結し抗議デモを行った。で主には学生や研究者らも加わり「10万人以上」が参加した。

* 9月5日夜、アフガニスタンの首都カブール南西部にあるスポーツ施設で爆発が2回あり、少なくとも20人が死亡、70人以上が負傷した。

* 9月6日、ブラジル南東部のミナスジェライス州で大統領選挙の遊説中であった極右の有力候補ジャイル・ボルソナーロ氏 (63) が暴漢に腹部を刺された。

* 9月6日、メキシコ東部ベラクルス州の検察局が同日同州中部で少なくとも166人分の遺体が地中から見つかったと発表した。

* 9月6日、スペインのサンチェス首相と左派政党ポデモスのイグレスィアス・シモン保基調が会談を行い、ラホイ前政権まで続いた緊縮政策の転換を具体化する来年度予算編成方針で一致した。合意内容は教育予算増額、付加価値税の軽減から核兵器禁止条約署名まで多岐にわたっている。

* 9月7日、イラク南部の油田地帯バスラで電気や水道の供給が行き届かないことや、失業率の高まりに抗議していた目撃者が暴徒化し、現地のイラン総領事館に放火した。

* 9月8日、ドイツ東部のザクセン・アンハルト州ケーテンで、アフガニスタン難民の男2人とけんかになったドイツ人男性(22)が死亡した事件があり、翌9日夜極右勢力による抗議でもに発展した。

* 9月9日、スウェーデンにおいて総選挙が実施され、前回2014年以来の与党の社会民主労働党(113→101)と緑の党(25→15)、2006~2014に政権に会った穏健党(84→70)が議席と得票を減らした。増加したのは左翼党(21→28)、中央党(22→31)等。極右の民主党は49議席から61議席に躍進。

* 9月10日、米国国務省がPLOがイスラエルとの中東和平交渉に乗り出していないとして、ワシントンにあるパレスチナ代表部を閉鎖させると発表した。

* 9月11日、アフガニスタン東部のナンガルハ州で自爆テロが発生し、68人が死亡、165人が負傷した。

* 9月11日、ブラジルで行われる大統領選挙でルラ元大統領を擁立していた労働党が副大統領候補のフェルナンド・アダジ元サンパウロ市長を大統領候補に差し替えたと発表した。

* 9月12日、ブラジルの労働党が大統領選挙(10月7日)に同党から立候補を届け出た元大統領のルラ被告(72)が出馬を断念したと発表した。任期中の汚職を問われた被告は2審で禁固12年1月の有罪判決を受けて収監中。

* 9月12日、チリの下院が14歳以上のトランスジェンダーの区民が出生登録簿など公的機関の文書に記載されている自分の名前や性別を自らの意思で変更することを認める法案を賛成多数で可決した。

* 9月14日、中国の習近平国家主席が北京の人民大会堂でベネズエラのマドゥロ大統領と会談し、会談で習主席は「中国はベネズエラが中国の核心的利益と重大な関心ある問題で理解と支持をしていることを称賛する」とした上で、「これまで通りベネズエラ政府の国家の安定・発展を図る努力を支持し、国情に合った発展の道を模索することを支持する」と表明した。

* 9月14日、米大陸の35か国が加盟するOASのアルマグロ事務総長(ウルグアイ)がベネズエラ城址絵について、「マドゥロ政権排除を目的とした軍事介入を含めあらゆる選択肢を排除すべきでない」と表明した。しかし、カナダと中南米諸国で構成する「リマ・グループ」

ープ」14ヶ国のうちブラジルやアルゼンチンなど10か国は15日、共同声明を発表。「我々はベネズエラへの軍事介入や暴力の公使、武力による威嚇や行為を意味するいかなる行動や発言にも懸念と拒否を表明する」と述べた。共同声明には、アルゼンチン、ブラジル、コスタリカ、チリ、グアテマラ、ホンジュラス、メキシコ、パラグアイ、ペルー、セントルシア。コロンビア、カナダ、ガイアナ、パナマは加わらなかった。

* 9月17日、アルゼンチンの首都ブエノスアイレスで財政赤字削減を理由に公共サービスや公務員給与の7引き下げなどの緊縮財政を強行するマクリ政権に抗議する公務員らのデモ行進が行われ約2万1000人が参加した。

* 9月17日、ポンペオ米国国務長官が国務省で記者団に、2019年会計年度に受け入れる難民数の上限を前年度の4万5000人から3万人に引き下げる方針を発表した。

* 9月17日、ロシアのプーチン大統領とトルコのエルドアン大統領がロシア南部措置でシリアのアサド政権が奪還を目指す反体制派の拠点イドリア地方をめぐる協議し、ロシア軍とトルコ軍が監視する非武装地帯をアサド政権軍と反体制派の支配地域の間10月15日までに設置することで合意した。

* 9月19日、韓国の文在寅大統領と北朝鮮の金正恩朝鮮労働党院長が今年3回目の会談を平壤で行い、金委員長が米国が相応の措置をとった場合に北朝鮮が寧辺核施設を永久廃棄することなどを盛り込んだ「9月平壤協同宣言合意書」の署名した。

* 9月19～20日、イギリスとEUが離脱条件や離脱後の関係を話し合う交渉がオーストリアで非公式首脳会議で行われ、両者の溝が鮮明になった。崔ぎ亜の問題は北アイルランドの国境問題だ。

* 9月21日、ポンペオ米国国務長官が米国FOXニュースとのインタビューでトランプ大統領と北著す円の金正恩国務委員長の2回目の首脳会談に向けて「取り組んでいる」とした上で、「ふさわしい状況を整え、両首脳が実質的な進展をなすようにする作業はまだ少し残っている」と述べた。

* 9月22日、イラン南西部のアフワズで数百人規模の軍事パレードが4人組の武装集団に襲撃され、子どもを含む少なくとも25人が死亡、60人以上が負傷した。スンニ派のアフワズを州都とするフゼンスタン州の分離独立を主張するアラブ人反体制派「アフワズ民族抵抗運動」が犯行声明を出した。

* 9月24日、トランプ政権が知的財産の侵害などを理由とした中国への制裁関税の「第3弾」を発動した。中国からの輸入品計2000億ドル分が大正で、中国も600億ドル分の米国産品に関税を上乗せする報復措置を実施した。

* 9月24日、本年5月にドミニカ共和国と国交を結んだ中国が首都サントドミンゴに大使館を設置した。

* 9月24日、イタリア政府が移民・難民に対する滞在許可を大幅に厳格化する法律を閣議決定した。

* 9月24日、ポンペオ米国国務長官がニューヨーク市内で記者会見し、トランプ大統領が

意欲を示す2回目の米朝首脳会談について、「開催を確信している」と述べ、開催の最終調整のための同長官自らが「年内に訪問するつもりだ」と表明した。

* 9月25日、安倍晋三首相と韓国の文在寅大統領がニューヨークで会談し、文大統領は北朝鮮の金正恩朝鮮労働党委員長が今月の南北首脳会談で日朝関係改善の用意があるとする首相宛ての伝言を託していたと述べた。

* 9月25日、フランス、ポルトガル、スペイン、ドイツの4ヶ国が地中海のマルタ沖を航行している救援船に乗っている移民・難民58人を受け入れることで合意した。

* 9月25日、フランスのマニユエル・バルス元首相（56）が来年5月に実施されるスペイン北東部カタルーニャ州の州都バルセロナの市長選挙に立候補すると発表した。

* 9月26日、ポンペオ米国国務長官がニューヨークで北朝鮮の李容浩外相と会談し、同長官が北朝鮮の金正恩国務委員長からの正体を受け入れ、トランプ大統領との2回目の首脳会談に向けた準備を進めるため来月に訪朝することを公表した。

* 9月26日、国連が「核兵器の全面的廃絶のための国際デー」と定める同日、「国連本部で「核兵器禁止条約」の批准・署名式典が行われ、サンマリノ、ガンビアなど4か国が批准し、批准は19か国、署名は67ヶ国となった。

* 9月26日、イギリス労働党のコービン党首がリバプールで開かれた党大会最終日の演説で、保守党政権による「緊縮、社会の分断、国際紛争の政治」を変え、「国を再建する」と訴えた。またEUからの離脱について、メイ首相が掲げる現在の離脱方針案に議会で反対票を投じる方針を表明した。

* 9月28日、ドイツを初めて国賓として訪問したトルコのエルドアン大統領がベルリンでメルケル首相と会談した。両首脳は経済分野を中心に協力を加速させることで一致、緊迫するシリア情勢をめぐり、10月にはロシアとフランスの首脳を交えた4者会合を開くことでも合意した。

* 9月29日、イギリス保守党大会（9月30日～10月3日）を前にバーミンガムで政府の進める緊縮や民営化政策に反対する数千人のデモが行われた。28日にもロンドンで予算削減に直面する学校長2000人のデモがあり、8年間の緊縮財政への批判が広がりを見せた。

* 9月29日、ブラジルの主塔都市で女性を中心とした数千人が、10月7日に行われる大統領選挙の極右候補ボルソナロ議員による女性蔑視発言に抗議した。

* 9月30日、イラク北部のクルド人主導の自治区政府、クルディスタン地域政府（定数111）の投票が行われ、暫定の投票率は57.2%であった。クルディスタン民主党（KDP）と連立を組むクルディスタン愛国同盟（PUK）が政権の座に留まるかが焦点。

* 9月30日、マケドニアで国名を「北マケドニア」に変えて、NATOとEUに加入することを支持するかを問う国民投票が行われ、「支持」が圧倒的多数（91%）を占めたが、投票率は37%と低迷した。

* 9月30日、NAFTAの再交渉をめぐり、米国とカナダとの協議が合意に達した。30

日は米・メキシコの協定文書を公表する起源で、カナダとの交渉を節目でもあった。

* 9月30日（日本）、沖縄県名護市辺野古の米軍新基地建設の是非が最大争点となった県知事選挙が投開票され、翁長雄志知事の遺志を継ぎ、辺野古新基地反対を掲げた玉城デニー前衆議院議員（58）が当選した。